

令和3年度文部科学省 ユネスコ未来共創プラットフォーム事業



ユネスコ UNESCO
Future co-creation platform
未来共創プラットフォーム

<https://unesco-sdgs.mext.go.jp>

令和3年年度第1回ダイアログ (通算第4回) 振り返り

@ZOOM

2021年7月28日(水)

佐藤真久

東京都市大学大学院 教授

ユネスコ未来共創プラットフォーム事業運営協議会座長

m-sato@tcu.ac.jp / masahisasato@hotmail.com



令和3年度文部科学省ユネスコ未来共創プラットフォーム事業 ～本ダイアログの振り返り(2021年7月28日)



ユネスコ UNESCO
Future co-creation platform
未来共創プラットフォーム

<https://unesco-sdgs.mext.go.jp>

XXXX: ユース

XXXX: ユネスコ勤務者・経験者

◆ユネスコに関わることによる自身の変容⇔変容しないもの

- ・ 日本人を超えたモノサシの獲得(地球益として、世界的視座、地球市民として)
- ・ 国籍を超えて尊敬し合える人たち
- ・ 実務としてのユネスコ(教育、科学、文化)と日本の中でイメージの差異
- ・ 組織属性を超えて、自身が何を仕事をするのか、できるのかが問われる
- ・ 属する組織が変わっても変わらないもの-和の尊重、コミュニケーション重視、人のためにしている自覚、組織論理を超えた現場重視、謙虚さ、中長期的に関わる姿勢、双方にとって良い関係性(ユネスコ⇔日本)
- ・ ユネスコ活動に関わることで、幅広い視野で考えることのできる

◆多様な価値観、文化的対立を超えて

- ・ 議論をつくす、寛容さ、異文化理解、互いに認め合う姿勢
- ・ 妥協せざるを得ない状況のなかでの、中長期的なコミットメント
- ・ ジレンマのなかで、めげず実現にむけた準備
- ・ 強いリーダーシップ?、合意形成重視?、現場重視による状況対応?異なるアプローチ・文化のなかで尊重し合う協働
- ・ 自身の気持ちと分かちあえる仲間・同僚の存在
- ・ アピール力ではなく、現場力を重視した協働
- ・ ユーモアを活かしたコミュニケーション

◆国連機関・ユネスコの役割 ⇔ 対話の場 ⇔ ユースの役割

- ・ 社会システムの構築に果たす国連機関⇔地域で行動する市民 ※相互補完し、協働しあう関係性
- ・ 自分ごと化できない国連機関の取り組み
- ・ 立場・世代・組織を超えた“SDGsの自分ごと化”、連帯の重要性 ※ユネスコ精神との接点
- ・ 情報を鵜呑みにしない、批判的的市民としてのかかわり、自身としてのコミットメント
- ・ 自分ごと化(思考のゆさぶり、想像力、創造力)
- ・ 立場・世代・組織を超えた対話の継続、対話の場づくりが、自身の役割を明確にしてい
- ・ 地域を支える主体として、持続的なコミュニティ形成にコミットする→地域への愛着、地域の発見、世界の取り組みとの連動性

